

第6回大学教育改革フォーラム

FDをどう組織するか―相互研修の共同体へ向けて―

開 会 の 辞

荒 木 光 彦（京都大学高等教育教授システム開発センター長）

定刻になりましたので、開始させていただきます。あちらにあります時計はほぼ5分進んでおりますので、お間違いないように。それでは、第6回の大学教育改革フォーラム「FDをどう組織するか―相互研修の共同体へ向けて」を開催させていただきます。私は、京都大学高等教育教授システム開発センターのセンター長をこの2月から務めております荒木でございます。本日は非常にたくさんの方々に御参加頂きまして、まことにありがとうございます。昨年の荻野先生の挨拶の記録の中にも全く同じ言葉がございましたが、本年の「たくさん」は、昨年よりほぼ3割から4割増し位になっております。準備の時に色々議論致しまして、いっそのこと机をとっぱらって話という話も出ておりましたが、御不便をかけるのではということで机は残しました。何とかお入り頂いておりますようで助かっております。来年になると、とうとう机無しという事になるかも知れません。新米の私といたしましてはこれ以上御挨拶する事もございませんので、選手交代いたします。本来ならば総長の長尾が御挨拶をするべきところですが、新聞でも御覧になっているかも知れませんが、色々急を用する事態が生じており、本日はおいでいただけないことになりました。そのため、赤岡副学長の方から御挨拶をお願いしたいと思います。では、赤岡先生よろしくお願いします。